



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 大谷 新一郎（相模原南 RC）

第2地域ロータリー財団地域コーディネーター補佐の大谷新一郎(2780地区・相模原南 RC)です。補佐として3年目になり大変充実した財団地域コーディネーターを経験させていただき、益々ロータリー財団の重要性を認識しております。

さて、昨年の11月17日にロータリー財団地域セミナーが34地区の地区財団委員長をはじめ200名を超える多数の会員の参加で開催されました。

セミナーはフランチェスコ・アレツツォRI会長のあいさつの後、TRF管理委員長ホルガー・クナーク氏よりロータリー財団の現状報告とグローバル補助金や、大規模プログラム補助金による奉仕活動をマイクを片手に壇上から、私ども参加者に語り掛けるようにとても分かりやすく熱く講演されました。財団への寄付がいかに世界の平和・ポリオ根絶、そしてこれからの明るい未来を担う若い人たちへの教育に寄与しているかを講演されました。

その後第5セッションまで「会員増強につながったロータリー財団活動」のパネルディスカッション、そして伊藤RRFCによる「ロータリー財団の戦略行動計画」と題し34地区の寄付状況を数字で達成率を示し、6月までの今季目標に向かって更なる努力を参加者皆様に訴えられた。

さらにロータリー財団奨学生で2025年3月まで駒澤大学長の各務洋子氏やロータリー平和フェロー大豆本由紀氏による講演が行われた。

各務先生の「36年の時を超えて＜恩返しの喜び＞」と題しての講演は先生が30歳の時東京四谷ロータリークラブの財団奨学生として3歳の息子さんと2人で米国アリゾナ州立大学に留学され国際経営大学院修士課程での勉学でMIM（国際経営修士）を取得された経験を話されました。講演の副題として「国際ロータリー財団奨学生として得た人生の宝」を掲げられ、今の自分があるのはロータリークラブのおかげと、時々留学時の思いがよぎったのか涙を浮かべて話されていて、参加された会員の皆様も感動したのではないかと思います。

10:00～17:30のぎっしり中身の濃い充実したセミナーでした。

